

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
78	地域交通対策事業	会計	01	一般会計		
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	款	02	総務費	
			項	01	総務管理費	
			目	06	企画費	
担当部課名	企画振興部企画調整課		細目	102	地域振興経費	
作成者氏名	山下 章光	連絡先	内線2115	細々目	04	バス等交通対策事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	公共交通空白地域の市民	地域が主体となった交通空白地域解消とアクセス手段を確保する。			
本年度事業内容	比自岐地区において運行している「コスモス号」の運行を支援				
開始年度	平成 15 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金交付規則 第23条

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.14	0.14	0.14
人件費合計(A)	1,008	1,008	1,008
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,550	5,600	3,100
委託料			
補助金	1,550	5,600	3,100
その他			
合計(A+B)	2,558	6,608	4,108
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,558	6,608	4,108
上記①～③に関する特記事項 H18年度は、目 06企画費 細目 105バス等対策事業経費 細々目 03地域交通対策事業 で予算化			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
乗車人員	人	3,113	3,000	3,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者	費用対効果を考える上で、利用人数を指標とした	人	3,113 目標 ()	3,000	3,000
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

他地域からも「コスモス号」方式による運行の要望があるが、この種の輸送形態については、運輸局ごとに解釈の違いがあり、また、運輸支局の担当者によっても考え方が異なるため、事業としては有効であるが拡大が容易でない現状がある。

評価	必要性	4	1月の利用が500人を超えることもあり地域の利便に大いに貢献しており、業者委託による運行に比べ安価である。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A